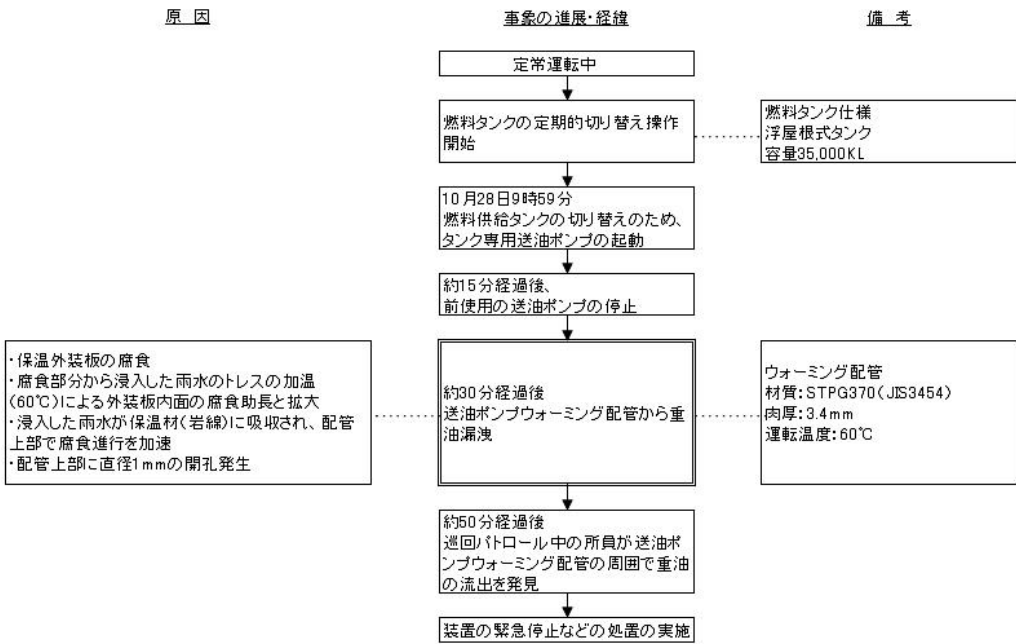




# 燃料油移送配管の外面腐食による開口、重油流出

## 事象進展図

00427	燃料油移送配管の外面腐食による開口、流出
発災年月日	2008年10月28日
装置	燃料油タンク
運転状況	定常運転中
特徴	ウォーミング(60℃)配管の雨水による外面腐食で燃料油が漏洩した事例



**再発防止策**

- 1、外装板腐食状況の点検強化
- 2、ポンプ切替時に監視カメラによる監視体制強化
- 3、関係マニュアル等の見直し(外装板腐食状況表の追加)
- 4、外装板を雨水の浸入しにくい構造に変更
- 5、保温材を撥水性の高い岩綿に変更

**安全専門家コメント**

雨水の浸入による配管腐食への配慮はどこでも行っているが、それでも漏洩事故は多数発生しており、難しい問題といえる。この問題に対しては、腐食環境に置かれる可能性の高い部位については、腐食に強い材量を選定し、雨水の浸入しにくい構造とするなど、基本的な対策を確実に実施するほかないが、あわせて、対策欄の記述にあるように、腐食の早期発見に向けて、点検手法および監視体制を強化することが望ましい。

**引き金事象発生の原因**

- ・保温外装板表面の変形、損傷による雨水溜まりと腐食発生
- ・腐食部分から浸入した雨水が、トレスの加温(60℃)により、外装板内面の腐食助長、拡大
- ・浸入した雨水が保温材(岩綿)に吸収され、配管上部で塩分濃度の濃縮による腐食進行の加速

**事故の引き金事象**

ウォーミング配管の外面腐食、開口

**事故に関係した直接・間接要因**

《保守・点検要因》  
点検・検査不良



## 燃料油移送配管の外面腐食による開口、重油流出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

消防

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 タンク > 貯槽

🔑 腐食 > コロージョン

🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

🔑 ウォーミング配管

🔑 浮屋根タンク > FRT, フローティングルーフタンク, 浮き屋根タンク

🔑 貯蔵系

▶ 関連情報